

コスモス 9月号

第71巻 第9号

◆宮柊二カレンダー(54) 九月の歌

なきがらと還りきませり草荒れて萩はつはつ
に咲きそめし家
歌集『多く夜の歌』

「釈迢空先生逝去」四首中の一首で、「大井出石町」と詞書がある。そこに釈迢空(折口信夫)の自宅があった。迢空は昭和28年9月3日に六十六歳で逝去したが、同年2月の「コスモス」創刊を支え、「O先生賞」が設けられた。

「なきがらと」は「なきがらとなつて」の意。9月7日「時事新報」への発表時は三句目以降が「はつはつに萩咲きそめて庭荒るる家」とあったが、「草荒れて萩はつはつに咲きそめし家」との語順の変化に心の鎮もりが感じられる。(豊島 秀範)